

(男子コースタルCMPA選手1名の認定辞退に伴う、
「コースタル競技 CMPA制度25-26年度認定枠における追加認定選考方針」の変更による更新(1/27))

(更新前) (クラシック競技 2026年シニア世界ローイング選手権・アジア競技大会日本代表選手選考
および コースタル競技 CMPA制度25-26年度認定枠における**女子選手**追加認定選考方針)

→ (更新) クラシック競技 2026年シニア世界ローイング選手権・アジア競技大会日本代表選手選考
および コースタル競技 CMPA制度25-26年度認定枠における追加認定選考方針

(主な更新内容：男子コースタルCMPA選手1名の認定辞退に伴い、「女子選手」だけでなく「男子選手」にも「追加認定」
の必要性が生じたため、上記、11/26 (旧) 文書タイトル中にあった「女子選手」という文言を削除しています。
本文中の更新内容も、これに準じています。)

2026年シニア世界選手権 (2026年8月24日～30日、オランダ・アムステルダム) 及び、アジア競技大会
(2023年9月20日～9月25日、日本・愛知) に出場する日本代表選手は、以下に示すとおり
の選考を経て決定します。また、今後、世界情勢の変動等、日本ローイング協会がコントロール
できない事由が生じた場合には、必要かつ合理的な範囲で変更することがあります。

なお、クラシックの代表選考の記載とは別に、コースタル競技におけるCMPA追加措置について、
後段にて言及しております。当該措置については、重点強化種目より選考を予定しています。詳しくは、

(更新前) (【D. コースタル競技「CMPA制度25-26年度認定枠における**女子選手**追加認定について

→ (更新) 【D. コースタル競技「CMPA制度25-26年度認定枠における追加認定について」】をご確認ください。
い。

日本代表選手選考について

A. 選考方針

(1) 目標

世界ローイング選手権：(重点強化種目) Final A

(重点強化種目以外) 1種目以上の派遣に加え、Final B以上進出

アジア競技大会：出場全種目入賞および前回大会以上のメダル獲得

(2) 派遣対象種目

世界ローイング選手権：重点強化種目 男女シングルスカル

派遣種目 男女フォア、男女ダブルスカル

※男女ペアについてはSBSのランキング・%IDTなどを評価し追加する
可能性がある。

アジア競技大会：重点強化種目 男女シングルスカル

派遣種目 (JOC内示種目)

男女ダブルスカル、男女ペア、男子クオドルプル、女子フォア

男女軽量級シングルスカル、男女軽量級ダブルスカル、

女子軽量級クオドルプル

(3) ナショナルチーム編成

2026年3月のシニア日本代表チーム選考レース (Small Boat Selection (SBS)) で選考された選手は**シニアナショナル
チームメンバー (重点強化種目代表・派遣種目代表)**として認定されます。重点強化種目代表は世界ローイング選手権及
びワールドカップ、アジア競技大会への派遣を想定、世界ローイング選手権・派遣種目代表は、世界ローイング選手権、
ワールドカップ、アジア競技大会への派遣を想定 (但し、男子フォアはアジア競技大会未開催種目)、アジア競技大会・
派遣種目代表はアジア競技大会への派遣を想定しております。

-1) 世界ローイング選手権・派遣クルーは、SBSの順位、合宿及びワールドカップにおける評価レースの結果等によ
り世界ローイング選手権への派遣の可否を決定します。

なお、世界ローイング選手権の派遣対象となる評価に達するクルーがいない場合、その種目の世界ローイ
ング選手権への派遣を見送る場合があります。ただし、M1xならびにW1xクルーが世界ローイング選手権の派

遣対象となる評価に達していない場合であっても、M1xならびにW1xが重点強化種目であることから、それまでの評価で最も高いクルーを、それぞれ世界ローイング選手権の派遣対象として考慮・検討します。

-2) アジア競技大会・派遣種目クルーはSBSのランキングを用いて、派遣種目における優先順位を踏まえてアジア競技大会へのクルー及び派遣の可否を決定します。

各選手はSBSのエントリー時に、スカルとスウィープのいずれかを選択し、スカルを選択した場合には軽量級とオープンのいずれかを選択します。シニアナショナルチームメンバーに選ばれた後は、原則として、選択したカテゴリーの種目に出場することになります。ただし、派遣種目の関係上、軽量級の選手がオープンに出場する場合、あるいは、スウィープで選ばれた選手が、何かしらの理由によりペアが解散し、スカル種目に出場する場合には、派遣カテゴリーを変更することがあります。

(4) 評価

①評価について

個人及びクルーの評価に関しては、競漕条件（風、波、流れ）を考慮し、Ideal Timeに対する割合（%IDT）を用います。

②評価基準

2028年ロス大会を見据えて本方針の目標設定を考慮し、世界ローイング選手権・重点強化種目・派遣種目における各ステップの評価基準は、競漕条件も考慮しつつ以下を目安としております。

SBS→評価レース %IDT 92%（2022-2024年のPAレベル相当）

評価レース %IDT 94%（2024年・2025年のオリンピッククオリファイレベル▲1-1.5%）

B. 選考ステップ

(1) 選考スケジュール

2025年シニアナショナルチーム選考は以下の流れです。

- ① 2025年12月6日（土）～21日（日）の2000mエルゴの記録提出（〆切2025年12月22日（月））
- ② 2026年2月7日（土）～22日（日）の2000mエルゴの記録提出（〆切2026年2月23日（月））
- ③ 2026年3月13日（金）～15日（日）シニアナショナルチーム選考レース（SBS）

(2) 2000mエルゴ記録の報告について

①2025年12月6日（土）～21日（日）、及び②2月7日（土）～2月22日（日）に各団体・個人で2000mエルゴタイムトライアル行って下さい。それぞれ提出締切日（①については2025年12月22日（月）、②については2026年2月23日（月））までに、その記録及び体重を証明する写真を添付し、所定のフォーマットで提出（送信）してください。また、体重はエルゴ測定の前2時間～1時間前の体重を0.1 kg単位で測定してください。①②の必ず両方の提出が必要です。

エルゴ記録のうち、2000mエルゴタイムトライアルのどちらか一方でエルゴ基準（重点強化種目：体重別Ergo%IDT 94%以上、又は男子6分10秒未満、女子7分10秒未満。世界ローイング選手権・アジア競技大会派遣種目：体重別Ergo%IDT92%以上、又は男子6分20秒未満、女子7分20秒未満。）の記録を出した選手は、重点強化種目は男女スカル、派遣種目は男女スカル及び男女ペアで、下記選考ステップ（3）（シニアナショナルチーム選考レース（SBS）に参加することが出来ます。記録提出時に必ず「身長」及び「体重」、「スウィープ（派遣種目のみ）もしくはスカルのカテゴリー別（オープン又は軽量級）」を記載するようにお願いいたします。

(3) シニアナショナルチーム選考レースSBSについて

シニアナショナルチーム選考レースは、以下の概要で実施します。

日程：2026年3月13日（金）～15日（日）

場所：海の森水上競技場

選考方式：2000mレース（World RowingプログレーションシステムWorld Cup方式）

種目：男女シングルスカル（重点強化種目・派遣種目）

男女ペア（派遣種目）

選考方法：シニアナショナルチーム選考レースの順位により、2026年シニアナショナルチームメンバーを決定します。

世界ローイング選手権・派遣種目の各カテゴリーの選考人数は、それぞれのゴールタイムを%IDTに変換し、そのランキングを用いて決定します。全カテゴリーを通しての選考人数は、強化委員会が目標と照らし合わせ総合的に判断します。

世界ローイング選手権の派遣種目について、他種目と比較し%IDTで低い場合は評価レースへ

の派遣を見送る場合があります。

また、アジア競技大会・派遣種目の各カテゴリー・種目の選考人数は、現在調整しているアジア競技大会・派遣種目に応じてそれぞれのゴールのランキングを用いて決定します。

また、種目における優先順位を強化委員会にて事前に決定し、上位のランキングより派遣種目を決定します。

※シニアナショナルチーム選考レースSBS 概要（以下、「SBS」とします。）

（SBSの要項は改めて発表しますが、ここでは概要を示します。なお、SBS要項発表時に、以下に記載した内容が変更されることもありますので、必ずSBS要項を確認してください。）

① 形態 2026年SBSでは、「予選TT（タイムトライアル）」「本戦」を別日程で実施せず（昨年度からの変更点）、上記の3日間で「予選TT・予選レース・準決勝レース・決勝レースの全て」を実施予定です。

② 種目 「M1x・W1x・M2-・W2-」の4種目（M1x・W1xにそれぞれLM1x・LW1xを含んでの4種目）
上記B(2)に示した基準を満たしていれば、予選TTへの参加クルー数制限は設けません。

③ スケジュール

1日目 午前：全種目／予選TT（1900m・1回）

午後：M1x・W1x／予選 M1x・W1xそれぞれ、TT上位18クルーによる予選3レース
→ 上位12クルーが準決勝ABへ
→ 下位6クルーが決勝Cへ

2日目 午前：M1x・W1x／準決勝 M1x・W1x それぞれ準決勝2レース

→ 上位6クルーが決勝A、下位6クルーが決勝Bへ

M2-／予選

→ 上位6クルーが決勝A、下位6クルーが決勝Bへ

W2-／予備レース

W2- 予備レース（参加6クルー以内を想定）

M1x・W1x・M2-／順位づけレース

M1x・W1x 決勝D・E・F～（TTランク19位以下の全クルーへの順位づけ）

M2- 決勝C・D～（TTランク13位以下の全クルーへの順位づけ）

午後 予備日程

3日目 午前：全種目／決勝

M1x・W1x それぞれ決勝A・B・C

M2- 決勝A・B

W2- 決勝A

午後 予備日程

④ 軽量級

スカル種目は、オープン・軽量級のカテゴリー分けを行わずに実施します。

ただし、上記M1xならびにW1xそれぞれの「決勝A・B・C」内に軽量級クルーがいない場合は、軽量級クルーのみの選考レースを実施する場合があります。

軽量級の体重の設定は以下を参考としていただき、詳細は各要項で表記します。

12月エルゴ 男子 75kg以下 女子 61.5kg以下

2月エルゴ 男子 73.5kg以下 女子 60kg以下

3月SBS 男子 72.5kg以下 女子 59kg以下

(4) 合宿及び国際大会における評価レースと最終決定スケジュール

2026年シニア世界ローイング選手権等への派遣クルーは、シニアナショナルチーム選考レース（SBS）の結果、及びワールドカップ3（スイス・ルツェルン：2026年6月26日（金）～28日（日））の結果により決定いたします。

C. その他

(1) 疾病や吊事等やむにやまれぬ事由への対応について

日本代表候補選考プロセスや合宿で高いパフォーマンスを示したと強化委員会が認めた選手が疾病や吊事等やむにやまれぬ事由によりシニア日本代表チーム選考レースや評価レース（※）に出漕できな

った場合は、強化委員会の判断により、次のステップに進める可能性があります（強化委員会の指示に従い、診断書等当該事由を証明する書面の提出が必要となります。）。

※評価レースについては重点強化種目のみが対象となります。

(2) 心電図検査結果の提出について

World Rowingの競漕規則に従い、各カテゴリー世界選手権選考会参加者は、心電図検査結果の提出が必要となります。なお、所定の期間以内(23歳未満は3年以内、23歳以上は5年以内)に心電図結果を提出したことがある選手は提出が免除されます。

(3) 2026年シーズンのIDTについて

2026年シーズンのIdeal Time (IDT) は、2024年11月28日（木）発表の「2028 Ideal Times Table」となります。

→ https://www.jara.or.jp/kyoka/2024/2028ideal_times_table.html

(4) JOC派遣手続き

シニアナショナルチームメンバーとして認定以降、アジア競技大会に派遣される可能性のある選手、スタッフについて日本オリンピック委員会派遣手続を実施します。

また、2026年4月上旬にメディカルチェックも予定しております。

(更新前) (D. コースタル競技「CMPA制度25-26年度認定枠における女子選手追加認定について」)

→ (更新) D. コースタル競技「CMPA制度25-26年度認定枠における追加認定について」

「2025-2026年度CMPA認定選手決定について」(JARA発番2025-106号2025年7月9日発)で男子2名を認定し、「2025年度CMix2x国際大会派遣追加措置選手決定について」(JARA発番2025-115号2025年7月15日発)にて2025年度追加措置選手を発表し2025年度の活動を終えているところです。

[https://www.jara.or.jp/coastal/current/\(2025-106\)2025-2026CMPASelectionResult.pdf](https://www.jara.or.jp/coastal/current/(2025-106)2025-2026CMPASelectionResult.pdf)

https://www.jara.or.jp/coastal/current/2025cmpa_cmix2x0715.pdf

(更新前) (この度、2026年度にむけ新たに女子選手2名の追加認定のプロセスを以下の通り実施します。)

→ (更新) この度、2026年度にむけ新たに女子選手2名および、2026年1月に男子選手1名のCMPA選手認定辞退の申し入れがあったため男子1名の追加認定のプロセスを以下の通り実施します。

→ (追記更新) <女子>

(1) CMPA制度 2026年度追加措置選手 女子選手の選考においては、クラシック競技における世界ローイング選手権 重点強化種目である女子シングルスカルのSBSランキングを用います。

(2) SBSランキング2位以下の選手より、「2026年WRBSF (2026 World Rowing Beach Sprint Finals : 10月18日(日)～21日(水) 実施予定) (中国・青島)」に向け、コースタル委員会が示すコースタルCMPA強化活動に専念する意思確認を一定期間実施します。

(3) (更新前) (上記(2)の後、2026年3月もしくは4月にコースタル競技への適正確認を行い、適性が確認取れ次第「2026年度追加措置選手」として認定し、~~既認定~~男子2選手とのCMPA活動を開始します。

-1) 女子選手2名の活動期間は~~既認定~~男子選手同様2026年度とします。

-2) 派遣対象となるレースおよび種目については別途コースタル委員会にて発表を行います。)

→ (更新) 上記(2)の後、2026年3月もしくは4月にコースタル競技への適正確認を行い、適性が確認取れ次第「2026年度追加措置選手」として認定し、**認定される**男子選手とのCMPA活動を開始します。

-1) 女子選手2名の活動期間は**認定される**男子選手同様2026年度とします。

-2) 派遣対象となるレースおよび種目については別途コースタル委員会にて発表を行います。

(以下(4)～(7)を追加更新)

<男子>

(4) 2026年1月に男子選手1名のCMPA選手認定辞退の申し入れがあったため、上記(1)～(3)と同様に以下の通り男子1名の追加措置をおこなう予定です。

(5) CMPA制度 2026年度追加措置選手 男子選手の選考においては、クラシック競技における世界ローイング選手権 重点強化種目である男子シングルスカルのSBSランキングを用います。

(6) SBSランキング2位以下の選手より、「2026年WRBSF (2026 World Rowing Beach Sprint Finals : 10月18日(日)～21日(水) 実施予定) (中国・青島)」に向け、コースタル委員会が示すコースタルCMPA強化活動に専念する意思確認を一定期間実施します。

- (7) 上記(6)の後、2026年3月もしくは4月にコースタル競技への適正確認を行い、適性が確認取れ次第「2026年度追加措置選手」として認定し、既認定男子選手とのCMPA活動を開始します。
- 1) 男子追加選手1名の活動期間は既認定男子選手同様2026年度とします。
 - 2) 派遣対象となるレースおよび種目については別途コースタル委員会にて発表を行います。

以上